

かわはら ようこ
川原 洋子さん

大正交通有限会社 タクシー運転手

1969年生まれ。浦幌町出身。観光バスガイドを皮切りに、長年に渡って旅客運送事業に従事する中で身につけたホスピタリティーを十分に発揮し、現在はタクシー乗務員として活動中。リピートする観光客からの指名数は地域でトップクラス。家族は夫、長女、次女。



タクシーならではの観光の魅力を伝えたい

きっかけ

バスガイドになって20年経ち、旅行者も日本人から外国人主体に変わってきて、ガイドの必要性が少なくなってきた頃、観光バスでは乗降に不自由し、行ける場所も制限されていた体の不自由な方にも旅行を楽しんでいただける方法はないかな？と考えていました。そして、一念発起してバスガイドを辞め、いくつかのセミナーを受講し、その中でたまたまタクシー会社の講師の方に声をかけていただいたのがきっかけ。ただ、観光に従事しながら、介護をやり出すと、体が不自由な人に無理をさせるのも難しいのではないかと迷ったりして、今は観光一本でやっています。

満足度

タクシー乗務員となり、たくさんのお客様とのご縁があり、バスガイド時代にはできなかった自分の思い描いていたホスピタリティーを十分に発揮し、お客様から楽しかった、又お願いしますね、との声をいただくことができ、幸せを感じています。タクシーは観光バスと違って、お客様との距離が近く、密にコミュニケーションを取ることができ、お客様の要望を受け、私の観光の引き出しの中から、いろいろなプランをご提案することができ、私自身、お客様との出会いにワクワクする日々を送ることができています。

苦労

入社前に母が他界したのですが、既にタクシー乗務員の養成期間に入っており、仕事を辞めることが出来ずそのままタクシー乗務を始めることにしました。仕事に慣れてくると観光の仕事にも行くようになりましたが、子どもも手の掛かる時期で、保育園や学校行事、病気などでお休みをいただくようになったのですが、当時はいわゆる男性の職場だったので、周りも目も厳しく、批判などもありました。その中で、家族や友人、会社の上司が状況を理解し、いろいろと協力してくれたので、なんとかやってこれました。

これから

これまでご縁があったお客様の中には、ハイエースのジャンボタクシーというものが、誰でも利用でき、観光にも利用できることを知らない方がたくさんいらっしゃいました。このように、まだまだ知られていないタクシーならではの観光の素晴らしさについて、もっともっと一人でも多くのお客様にお伝えしていきたいと思います。当初思い描いていた、体の不自由な方にとっての観光については、今後落ち着いたらヘルパーの資格を取ったりしながら準備して、いずれは携わってみたいですね。

小さなお子様がいらっしゃる方や私のように車の運転が好きでドライブに行くのが大好きな方、今タクシー会社は働くお母さんの力になってくれ、いろいろと相談にも乗ってくれます。一人でも多くの仲間が増えて今以上に楽しく仕事ができたらと思います。